

# 事業報告書

1 支援団体名	本明川を語る会
2 事業名称	第7回諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～
3 実施日時	平成27年7月18日（土） 13:30～16:00
4 実施場所	小野ふれあい会館
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>諫早大水害を風化させないために、体験者手記朗読や体験者談などを通して、その災禍を語り継ぎ、安全・安心なまちづくりを目指す。</p> <p>(1) 「諫早大水害」記録映画上映</p> <p>(2) 朗読劇「諫早眼鏡橋今昔物語」</p> <p>(3) 体験者手記朗読 詩『氷の斧』木下和郎作～朗読：諫早コスモス音声訳の会 『写真を見て（笹野竹松談）』～朗読：諫早コスモス音声訳の会</p> <p>(4) 体験者談：山口義行（20歳で水害に遭遇） 小野由利子（8歳の時水害で家屋が流される）</p> <p>(5) 御館山小学校PTA安全マップづくり発表</p> <p>(6) 県立諫早東高校放送部制作ビデオ上映「水と生きるまち諫早」</p> <p>(7) 本明川の歌：『本明川に捧ぐ』（コールすみれ） 『せせらぎの詩』（葡萄の会） 『とっても大切なもの』（コールすみれ、葡萄の会）</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>(1) 7回目の事業であったが、継続することの重要性が確認された。</p> <p>(2) この事業を通して、水害の恐ろしさ・生命の尊さが再認識され、日ごろの防災対策の必要性など防災意識の高揚が図られた。</p> <p>(3) 今回も、場所を変えて実施した。地域住民が多数参加したので、地域での防災啓発にある程度貢献できた。</p> <p>(4) 毎回内容に工夫を凝らしてきたので、年々充実してきたという声も耳にするが、若い世代の参加に課題がある。</p>
6 参加内訳	総人数 257名
	(1) 主催者参加 24名
	(2) 日本人参加（(1)を除く） 257名
	(3) 外国人参加（(1)を除く） 0名
7 今後の方針	<p>(1) この事業の成果・課題などを検証し、内容を充実させる。 水害遺構巡り・水害体験リレートーク等も企画したい。</p> <p>(2) 行政との協働体制を維持する。長崎河川国道事務所や諫早市の全面バックアップ態勢を堅持し、各地域との連携を強化したい。</p> <p>(3) 助成金を活用して、事業経費を確保する。</p>

聴講状況



壁新聞コンクール表彰



朗読劇



諫早大水害記録映像上映



防災教室について



諫早高校放送部制作ビデオ上映

